

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月11日更新

事務事業名	県議会議員選挙事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	選挙管理委員会	課長名 建岡 純雄
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進		所属課	選挙管理委員会	担当者名 合志 義浩
	基本事業	42	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	選挙管理委員会	(内線) 1225
予算科目	会計一般	款 2	項 4	目 7	事業連番 10339	法令根拠	公職選挙法 熊本県公職選挙執行規定
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 22 ~ 23 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
結果優先度評価結果		⑫					
コスト削減優先度評価結果		⑥					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊本県議会議員一般選挙の管理執行を行う。平成23年4月29日で任期満了となるが、今回は、統一地方選挙関連法律の施行により、平成23年4月1日告示、4月10日投票日となる。 合志市選挙区は定数1名。当日投票に行けない選挙人のために、期日前投票所を4月2日から9日まで8日間開設する。その他の投票制度に、滞り市町村での不在者投票、一定の障害を持つ方のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票などを受付ける。期日前投票所は合志庁舎、西合志庁舎の2箇所。期日前投票の時間は午前8時30分から午後8時まで。 当日投票所は市内2箇所。投票時間は午前7時から午後8時まで。開票は当日の午後9時10分から合志市総合体育館(ヴィーブルメインアリーナ)で即日開票を行った。
(開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票所、開票所の指定、③ポスター掲示場設置、④資材、消耗品等の準備、⑤選挙人名簿の調製、⑥投票入場券作成と発送、⑦投票管理者・同職務代理者・投票立会人の選任、⑧投票・開票事務従事者の選任、⑨期日前投票事務従事者説明会、⑩啓発活動、⑪立候補の受付、⑫期日前投票所の設営、⑬不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑭選挙公報の作成と配達、⑮選挙違反に対する注意・指導、⑯当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、⑰投票所、開票所の設営、⑱交付機・計数機等の点検、⑲当日投票事務、⑳当日開票事務、㉑県選管へ結果報告、㉒選挙録・開票録の検収、㉓選挙会(当選証書の授与)、㉔選挙委託費の実績報告・委託費の請求
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、時間外勤務手当、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	期日前投票所を2箇所(合志庁舎、西合志庁舎)で実施しているが、泉ヶ丘支所で実施してほしいとの意見がある。当日投票所の投票時間を午前7時から午後8時まで実施しているが、投票立会人の方や事務従事者から、長時間勤務による疲労などもあり、また、午後6時以降の投票者は少なくなるため、投票時間の短縮を望む意見が多い。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
平成23年4月1日告示、10日投開票に向けた準備を行う。(選挙管理委員会の開催、投票日の啓発、投票制度の啓発、ポスター掲示場の設営、選挙人名簿の調製、入場券作成、投票管理者・投票立会人・事務従事者の選任、事務用品、投票機材の点検、事務従事者説明会の実施)	平成23年4月1日告示による、立候補受付。投票入場券の発送。期日前投票所の設営と執行。指定施設による不在者投票の受付、郵便による不在者投票の受付。選挙公報の配達。当日投票所・開票所の設営。投票日の執行。開票と県選管への報告。選挙会の開催と当選証書の授与。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア 候補者数	人
イ 当選人数	人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・選挙人(有権者)	ア 当日有権者数
・投票管理者、立会人、事務従事者	イ 投票者数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
法律に定められた選挙に関する事務の適正な遂行を管理する。	ア 選挙執行において問題となった件
	イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込	総トータルコスト 全体計画 ~23年度  (期間限定複数年度のみ記載)  30,133
① 活動指標	ア 人	0	0	0	0	2	0	0	
	イ 人	0	0	0	0	1	0	0	
② 対象指標	ア 人	0	0	0	0	43,000	0	0	
	イ 人	0	0	0	0	17,200	0	0	
③ 成果指標	ア 件	0	0	0	0	0	0	0	
	イ								
入費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円		8,825	2,302	10,427			
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円					3,007		
	一般財源	千円							
量	(A) 事業費計	千円	0	8,825	2,302	13,434	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	0	3,570	1,292	9,266	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	3,198	1,292	8,017	0	0	
	正規職員従事人数	人	0	0	3	11	150	0	
人件費	延べ業務時間	時間	0	0	400	1,160	3,000	0	
	(B)人件費計	千円	0	1,592	4,779	12,360	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	10,417	7,081	25,794	0	0	

事務事業名	県議会議員選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会
-------	-----------	-----	---------	-----	---------

2 評価の部 (SEE) \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似するものはない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 投票事務においては、電算システム(入場券ハガキのバーコード読取り)の導入により従事者の削減を図ることは可能。開票事務については、事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者数の削減、開票時間の短縮が望める。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき執行する事務であり、受益者負担の考え方はなじまない
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法による市選挙管理委員会での執行管理事務であるため移行できない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度分としては、予定通り準備行為としての事務を執行できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

当日投票所における電算システム(入場券はがきのバーコード読み取り)の導入、開票所における電算システム(投票用紙の票箋の読み取り)の導入については、パソコンと専用ソフトの導入が必要であり、特に初期投資が大きい。予算面での検討が必要。